

第8期 第2回 与謝野町産業振興会議 会議報告書

日 時 令和7年9月26日（金）午後7時00分～午後8時20分

場 所 岩滝保健センター2階 会議室1・2

出 席（敬称略）

西原 新介	小林 厚美	寺立 浩人	岩西 拓男
足立 克徳	西村 彬弘	安達 幸三	太田 桂史
青木 一博	小山 大介	山添 宏明	小森 哲哉
大槻 晃一	小田垣 凜	江種 里栄子	宮崎 真実

欠 席（敬称略）

糸井 宏輔	谷口 祐一		
-------	-------	--	--

事務局

産業観光課 田村補佐	同 井上係長	同 妹尾係長	農林環境課 細見主任
商工会 佐々木支援員			

傍聴者 2名

会議概要

1. 開会（小林会長）

2. 議事

（1）与謝野町の金融支援制度と他市町の支援の状況について

～与謝野町の金融支援制度～

～北部5市の支援制度一覧～

・資料により、事務局 田村補佐から与謝野町並びに北部5市の支援制度を説明

（2）貸出金利と融資の状況等について

・小森委員（京都銀行）、大槻委員（京都北都信用金庫）から、金利の状況と事業者の反応、また事業者向け融資の現状等を報告

・金利は、日本銀行のマイナス金利解除により上昇局面にある。

・事業者向け融資については、コロナ禍に設備投資をされた事業者が多く、資金需要、借入れ需要は乏しい状況。

・事業者の方は、金利上昇局面で、手元にある資金で回せるなら無理して借りなくても良い

と判断され、資金需要は非常に乏しくなっている状況。

- ・ 今後金利の上昇幅が大きくなるようなことがあれば、保証協会付き融資等の需要が高まることも想定される。
- ・ 事業者の反応は、物価、原材料等様々な物の値段、人件費が上昇する中、ある程度の金利上昇は仕方ないと認識されている。現状では、金利の引上げ幅は小さく、金利上昇を理由とした融資の判断は少ない状況である。

(3) 支援制度の見直しの方向性について（グループディスカッション）

- ・ 出席委員が3グループに分かれ、見直しの方向性についてグループディスカッションを行った。各グループの主な意見は次のとおり。
- ・ 本日の意見を踏まえ、11月28日（金）開催予定の第4回の産業振興会議で事務局から見直し案等を提示する。

グループ1

- ・ 14万円程度の補助額では、事業者にとって融資を受けたり、保証を受けたりするインセンティブにならない。この分の予算を創業支援に配分した方が、新たな事業者の進出に繋がり良いのではないか。
- ・ 対象金額を絞ったうえで、金利ゼロ・保証料ゼロにするゼロゼロ融資の方が、事業者にとってインパクトがあるのではないか。

グループ2

- ・ 支援制度を知らない方が多く制度を理解してもらうところから議論を始めた。
- ・ 利子補給については、支援の期間を伸ばしたらという意見もあったが、トータルの予算枠の話を見せてもらった。
- ・ 両制度とも一定の利用件数があり、令和7年度で更に金利が上昇するかもしれない中、支援件数の増加や近隣市の状況をもう1年間様子を見ながら、もう一度、来年議論してもよいのではないか。

グループ3

- ・ 利用実績が減っているのは、申請の手間に補助額が合っていないとか、他の制度を利用されているのではないか。
- ・ 補助金額を大きくして件数を減らすか、補助額を減らす代わりに申請の手間を減らして事業者に早く交付できるようにするなど、そういった見直しも必要ではないか。
- ・ 他の制度との併用の可否等、補助制度全体について、詳しく説明が聞ける機会を設けるのも良いのではないか。

(4) その他

- ・第3回産業振興会議：令和7年10月29日（水） / （仮）外国人雇用について
- ・町実施事業の「販路拡大等ビジネス相談窓口の開設」、「プレミアム商品券」、「丹後オープンファクトリー」を紹介。

3. 閉会（西原副会長）